

企業の新たな取り組み①

建設業で新たな取り組み!

専門的業務をテレワークで可能にし、採用募集への応募者を増やしたい!

東洋テクノ株式会社

Step.1 ここが困った

① 積算業務を担うベテラン社員の後継者探しに難航

積算部門を担当しているベテラン社員の後継者募集を数年前から行っているが、建築業界の活性化もあり、まだ採用に至っていない。また、現在の積算担当者は70代の方で遠方から片道1時間半かけて通勤しているため、今後、状況によっては出社が難しくなることも考えられる。

② 受注拡大に伴う労務安全書類の作成・提出作業を行う事務社員数の拡大が急務!

建設業では現場の施工体制などを記した労務安全書類を作成・提出する必要があり、現在、パートタイムの事務社員が担当している。今後の受注拡大に対応するためには、事務を担う社員数の拡大が重要です。

①②の課題に対し、近隣エリア内では採用に至っていないため、募集エリアの拡大を想定したテレワーク制度の導入が必要。

Step.2 取り組み内容

テレワークの基本となるICTツールを導入し、テレワーク勤務の基盤を整備

※この進め方は、どの会社にもあてはめられる基本モデルです。

① Before 現在の働き方

(1) 積算業務



積算業務を行うには、会社に出社して自身のデスクで作業を行うしかない。また、通勤時間も長くなる。

→ 出社しなければ業務を行えない

(2) 労務安全書類作成・提出業務

現状、1名のパートタイムの事務社員が会社に出社し、会社のデスクで作業している。

→ 今後受注が増えた場合に備える必要がある

③ 建設業であってもテレワーク可能な業務を抽出し、コンサルティングを経て実現可能なモデルを構築。

② After テレワークの試行導入

ICTツールの整備 & 2か月間のトライアル



取り組み内容

(1) テレワークに適したICTツールを導入し、オフィス以外でも働ける環境を整備。

(2) 事務担当者、IT担当者、積算担当者の3者間で計3回のトライアルを実施。第1回と第2回は実施者同士がオフィス内の別フロアに分かれてインターネット会議、資料共有ツールでの資料の受け渡しを実施。第3回は同様の内容を在宅勤務者とオフィス勤務者に分かれて実施。

(3) 在宅でも実施したこと
・チャットでのやり取り
・オフィスとのインターネット会議
・企画書・報告書などの作成、修正、管理

(4) 別拠点や自宅においても可能になったこと
・積算業務の共有・指導
・事務書類の作成
・業務の進捗報告

コミュニケーションツール (勤怠管理ツール)
※勤怠時刻管理だけでなくパソコン画面の録画を行うことで業務状態の把握も容易に!

インターネット会議ツール
※パソコン、カメラ、マイクは現在会社で使用しているものを活用!

資料共有ツール
※ツールはテレワーク導入に選定されている製品の無料版を先行リリースはゼロ!

④ オフィス内でテレワークを行ってからの在宅勤務だったため、遠隔でもスムーズにやり取りが進んだ。建設業でも環境が整えば場所を問わずにテレワークが可能なることを実感!

こんな会社です

本社所在地 東京都世田谷区千歳台4-30-15
主たる事業 空調設備設計・施工及び
冷媒管用ラック製作・施工
従業員数 18名
設立 1989年



上祖師谷営業所・倉庫

導入ポイントの実例①「ICTの活用」

チャットツール:チャット(短い文章)でコミュニケーションを行うツール。テキストによるチャットだけでなく、画像や書類(WordやPDFなど)も添付できる。業務ごとにグループを作ったチャットも可能。

インターネット会議ツール:最近ではブラウザ(インターネットサイトを閲覧するために使うソフトのこと)だけで気軽にオンラインミーティングができたり、スマートフォンでも利用可能なツールも多い。画面共有機能や録画機能もある。

クラウドストレージサービス:インターネット上にデータを保存でき、複数ユーザー間でデータを共有できる。

※テレワークのためのICTツールについては、様々な企業が製品を開発販売しており、無料版で試行できるものや有料版で多機能なものまであり、企業の目的や用途に合わせて活用できます。

お助けツール①「セキュリティ」

テレワークで安全に作業をするには、以下のような遠隔アクセスの仕組みを使って、会社の情報を手元のパソコンに残さないことが重要です。
オススメ遠隔アクセス1:リモートデスクトップ
手元のパソコンからインターネット経由で社内のご自身のパソコンにアクセスして、デスクトップ画面を見ながらリモート操作します。お一人から始められます。
オススメ遠隔アクセス2:仮想デスクトップ(シンクライアント)
手元のパソコンからインターネット経由で仮想化させたデスクトップ(サーバの中にある仮想のパソコン)へアクセスして、リモート操作します。導入費用は割高ですが、会社パソコンが不要で管理コストも少ないので、大企業での採用が増えています。

※詳細は各ICTツール開発・販売会社へのお問い合わせが必要です。

社員の声

【積算業務もテレワーク可能な手ごたえを感じた!】

パソコン操作に不慣れですが、普段一緒に仕事をしている仲間とのトライアルを体験し、積算業務自体は支障なく行えるのではないかと感じました。人事評価や業務引継ぎ者への指導育成などの課題はありますが、時間の有効活用や体調管理の面からも、新しい働き方にチャレンジしていきたいです。



積算担当
小川 直義さん